



PSI 全加盟組合宛コミュニケ 2018年11月19日

国際公務労連第153回世界執行委員会 2018年11月14-15日、ジュネーブにて会合

各位

PSI 第153回世界執行委員会 (EB) が2018年11月14-15日に開催された— これは2017年11月にジュネーブで開催された PSI 世界大会以後の初めての定期執行委員会であった。

執行委員会は **8名**の新たな若年労働者代表や新たに選出された女性委員会委員長イレーネ・ホンフランフラ・クマロ (スワジランド) を含む新しい執行委員会メンバーを歓迎した、そして運営委員会への若年労働者代表としてアルゼンチンのロドリゴ・ダニエル・ロペスが選出されたことも歓迎した。また新たに PSI に加盟した **23**の組合も歓迎した。

執行委員会は、米国のドナルド・トランプの行動や、ブラジルにおけるジャイル・ボソナロの選出などの右翼ポピュリズムの台頭に強い懸念を表明した。執行委員会は、**ブラジルの労働者と労働組合、女性および不寛容と嫌悪の言動に立ち向かっている他の多くのマイノリティグループへの連帯**を表明する**緊急決議**を可決した。**多様なバックグラウンドを持つ多くの女性が下院議員に選出されたこと**など米国の選挙は反撃に向かう明白な兆候であることに注目した。またクルド人労働者の闘いに対する支持を表明した、そして事態を引き続き監視し、可能であれば連帯と支援を提供することを約束した。

移住と難民に関する PSI の活動について、グローバルコンパクトの進展状況も含めて議論した。EB は移住と難民に対する誹謗中傷の報告を受け、移住者と難民の人権を保護することへの PSI のコミットメントを再確認する**決議**を可決した。

EB-153 は 2017 年の PSI 大会の成功に留意し、このイベントに対する評価を受け「**利益よりも人々を優先：2018-2022 年の PSI 優先課題**」文書で命じられたことについて行動の優先順位を採択した。EB は大会で採択された新規約の下での**地域執行委員会の選出手続き**を説明する新たな附則も採択した。

今後 5 年間は、公共部門組合が再編して、より良い世界を作るために必要な力を構築し続けるための重要な機会になる。EB-153 は PSI の優先的活動分野に関する最新の情報を知らされた。執行委員会は、

- PSI と加盟組合との間のコミュニケーションを高める **PSI の新デジタル・ツールボックス Motyrö** について検討した。このツールボックスによって加盟組合は自身のウェブサイトとニュースレターを立ち上げ、キャンペーンを開始できるようになる。PSI は新年に全加盟組合向けにビデオ教本を送付する。
- PSI の新しいウェブサイトについて検討した、そして自分の組合の広報能力向上を含むウェブサイトの新しい機能性についてもっと学習するために**加盟組合のコミュニケーション・IT 担当スタッフ**に対して PSI に連絡することを求めた。

- PSI のデジタル化活動の進捗状況について報告を受けた、地域協議が来年行われることになっており、公共部門組合がデジタル化の影響にどのように対処しているかについての事例を送るよう全加盟組合に求めた。
- 債務が労働者と公共サービスに及ぼす影響について議論し、PSI が制作中の加盟組合用資料に留意した。
- POPプラットフォームの進展に関する最新状況が語られ、2か月後に加盟組合に登録を求める勧誘状が送られることを知らされた。

執行委員会は PSI の 2017 年財務報告と改訂された 2018 予算案を承認した。長年 EB メンバーを務めたドイツのイゾルデ・クンケル・ウィーバー、シンガポールのヌア・シャイマ・アブダル・ラティブおよびノルウェーのジョン・ライルバーグに別れを告げ、彼らならびに WOC 委員長を退任するブラジルのジュネイア・バティスタに対して、彼らの熱心で献身的な仕事ぶりに感謝した。

議事録は、そのうちに PSI ウェブページで全 PSI 加盟組合が閲覧できるようになる。

世界執行委員会の次回の会合 EB-154 は 2019 年 11 月に開催され、EB に先立って女性委員会が開かれる。運営委員会は 2019 年 5 月 27-28 日に会合する。

ローザ・パヴァネリ
PSI 書記長